

競争

凸凹

乗合

尾風

令和3年(2021年)6月9日(水曜日)



「ゆめみしま」植えたよ 三島のブランド米

三島市のブランド米づくりを目指すNPO法人グラウンドワーク(GW)三島はこのほど、農林水産省の产地品種銘柄に認定された「ゆめみしま」の田植え体験会を同市長伏の田んぼで開いた。

親子ら一列で丁寧に

田植えをする親子たちが、一列で丁寧に田植えを行っている様子。背景には他の参加者や建物が見えます。

田植えを体験する参加者=三島市長伏

(三島支局・金野真仁)

GW三島は「世界水遺産」の源兵衛川を水源とする中郷用水を活用し、初年度は中郷地区の田んぼ6500平方㍍で約3㌶を収穫する予定。田植えでは地元の親子連れなど約30人が参加し、列をそろえてゆっくりと後ろに下がりながら丁寧に苗を植えた。子供たちは水田に足を取られて泥まみれになりながら、夢中になつて田植えを楽しんだ。

三島の清流で栽培するゆめみしまは粒が大きく、滑らかな「当たり」が特長。10月の収穫後に市内外で販売を開始する。田植えの参加者は稻刈りも行う予定のほか、一部の親子は苗を持ち帰って自宅のバケツで栽培に挑戦するという。